



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 作新学院大学祭で広報展 ～自衛隊の魅力を最大限PR～

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、11月11日（土）作新学院大学で行われた作新祭に中央即応連隊（宇都宮駐屯地）の支援を受け、広報展を実施した。

広報展では、軽装甲機動車の展示、装備品クイズ及び制服試着を行い、当日は秋晴れのさわやかな天候の中、終日大勢の来客者で賑わっていた。装備品クイズには、戦闘機の種類・特徴や戦車の重量などの難問が出題され、学生や子ども連れの家族が参加し、正解者には自衛隊グッズが贈られるなど大盛況であった。装備品展示では、初めて見る軽装甲機動車に興味を持った多くの来場者が集まり、思い思いのポーズをとって自衛官と記念撮影し「カッコいい！」と好評を得ていた。特に臨時勤務の女性自衛官神山空士長（第2輸送航空隊（入間）は、女子学生に人気で常に囲まれ質問攻めにあっていた。また、正面のブラスで栃木プロレスが始まるとプロレスラーが広報ブラスに駆けつけ、写真撮影や「お国のために活動されている自衛隊の方、いつも有り難うございます」「頑張ってください」「一層の盛り上がりを見せた。」

宇都宮募集案内所は、「今後も、学校との連携と信頼関係を継続して、自衛隊が魅力ある職業であることを積極的に伝え、志願者獲得に繋げていく」としている。



軽装甲機動車での写真撮影



作新学院学院長と写真撮影



制服試着の様子

## 矢板市防災まつりで広報展 ～防災イベントで自衛隊をPR～

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、11月11日（土）、矢板市こども未来館で実施された「防災まつり」において東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を実施した。

同防災まつりは、「みんなで防災について考えよう！」をコンセプトに自衛隊、矢板市生活環境課、矢板消防署、矢板警察署、矢板市女性消防団、日本赤十字社、矢板市生活研究グループ協議会及び地元の高校生ボランティアにより行われた地元密着のイベントである。広報展では、宿営用天幕体験、31/2tトラック及び1/2tトラックの展示が行われ、イベントに会場したご家族やボランティアで参加している中、高校生も夢中で写真を撮るなど、賑わいを見せていた。各ブラスでは、消防隊の水消火器体験、煙体験、AED体験、消防団による防災グッズの展示及び啓発活動が行われ、防災を通じて地域の人たちとつながるきっかけとなった。また、自治体との顔合わせの場として警備隊区担当の東部方面特科連隊第2大隊第4中隊が参加することにより、栃木地本、部隊及び自治体との連携を図る良い機会となった。

大田原地域事務所は、「今後も、様々なイベントに参加し、地域の理解を広げるとともに、志願者獲得に繋げていきたい」としている。



ボランティア活動の間にワンショット



自衛隊お仕事体験



宿営用天幕体験